

年間授業計画

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ D 組

教科担当者：

使用教科書：（ わたしたちの地理総合（改訂版） : 山川出版社 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解する。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、関連を概念などを活用して多面的・多角的に考察する。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象に関する課題を主体的に解決しようとしている

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災・地域や地球的課題への取組などを理解している。 技能：地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身につけている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身につけている。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深めている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	地図とGISの活用 【知識・技能】 地球上での位置、時差の計算、図法、領域について理解させる。 【思考・判断・表現】 地図を活用して地球上での位置を確認し、時差の計算できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 統計資料を読み取り、そこから現代社会の課題を見つけ、さらに学習の「問い」を立てられる。	【地図とGISの活用】 1 球面上の世界と地図の活用 2 国家間の結びつき	【知識・技能】 地球上での位置、時差の計算、図法、領域について理解できる。 【思考・判断・表現】 地図を活用して地球上での位置を確認し、時差の計算ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 統計資料を読み取り、そこから現代社会の課題を見つけ、さらに学習の「問い」を立てることができる。	○	○	○	8
	自然環境と生活文化 【知識・技能】 地形および気候の特徴及び分布について理解させる。 【思考・判断・表現】 地形と気候の関わりについて資料を基に考察できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 地形と気候に関わる課題から学習の「問い」を立て、それに対し追求できるようにする。	【自然環境と生活文化】 1 地形と生活文化 2 気候と生活文化 ・一人1台端末の活用 →formsを用いた振り返り	【知識・技能】 地形および気候の特徴及び分布について理解できる。 【思考・判断・表現】 地形と気候の関わりについて資料を基に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地形と気候に関わる課題から学習の「問い」を立て、それに対し追求できる。	○	○	○	4
	定期考査 多文化共生社会と生活文化 宗教、言語の特徴及び分布について理解させる。 【思考・判断・表現】 宗教、言語と生活文化の関わりについて資料を基に考察できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 宗教に関わる身近な課題から学習の「問い」を立て、それに対し追求できるようにする。	【多文化共生社会と生活文化】 1 世界の宗教と生活文化 2 世界の言語と生活文化 3 植民の歴史と多文化共生 ・一人1台端末の活用 →formsを用いた振り返り	【知識・技能】 宗教、言語の特徴及び分布について理解できる。 【思考・判断・表現】 宗教、言語と生活文化の関わりについて資料を基に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 宗教に関わる身近な課題から学習の「問い」を立て、それに対し追求できる。	○	○	○	4
産業の発達と生活文化 経済発展の特徴とそれが人々の生活にもたらした変化について理解させる。 【思考・判断・表現】 複数の資料から各国が抱える課題を正しく捉えることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 複数の資料から各国の課題（経済格差、貿易摩擦）を捉え、学習の「問い」を立てることができるようにする。	【産業の発達と生活文化】 1 農業の発達による変化 2 工業の発達による変化 ・一人1台端末の活用 →formsを用いた振り返り	【知識・技能】 経済発展の特徴とそれが人々の生活にもたらした変化について理解できる。 【思考・判断・表現】 複数の資料から各国が抱える課題を正しく捉えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 複数の資料から各国の課題を捉え学習の「問い」を立てることができる。	○	○	○	8	
定期考査			○	○		1	
2 学期	グローバル化の進展と生活文化 【知識・技能】 地域の特徴とそれが人々の生活に与える影響について理解させる。 【思考・判断・表現】 複数の資料から各地が抱える課題を正しく捉えることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 複数の資料から各地域の課題（カースト制、石油依存、貧困、格差）を捉え、学習の「問い」を立てることができるようにする。	【グローバル化の進展と生活文化】 1 グローバルの進展と課題 2 地域統合による変化 ・一人1台端末の活用 →formsを用いた振り返り	【知識・技能】 地域の特徴とそれが人々の生活に与える影響について理解できる。 【思考・判断・表現】 複数の資料から各地が抱える課題を正しく捉えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 複数の資料から各地域の課題を捉え、学習の「問い」を立てることができる。	○	○	○	14
	定期考査		○	○		1	
	地球課題と国際協力 【知識・技能】 主題図から資源・エネルギーや人口、食料が偏在していることを理解させる。 【思考・判断・表現】 資源・エネルギー問題や人口・食料問題、都市問題について資料を基に考察できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 資料から資源・エネルギーや人口、食料分布を読み取り学習の「問い」を立て、それに対し追求できるようにする。	【地球的課題と国際協力】 1 地球環境問題 2 資源・エネルギー問題 3 人口・食料問題 4 居住・都市問題 ・一人1台端末の活用 →formsを用いた振り返り	【知識・技能】 主題図から資源・エネルギーや人口、食料が偏在していることを理解できる。 【思考・判断・表現】 資源・エネルギー問題や人口・食料問題、都市問題について資料を基に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 資料から資源・エネルギーや人口、食料分布を読み取り学習の「問い」を立て、それに対し追求できる。	○	○	○	14
定期考査		○	○		1		
3 学期	生活圏の諸課題 【知識・技能】 日本の自然環境の特徴と生活文化との関わりを理解できる。 【思考・判断・表現】 日本の自然環境と生活との関わりを主題図や写真から考察できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境の特徴と自然災害から「問い」を立て、それに対し追求できるようにする。	【生活圏の諸課題】 1 日本の自然災害と防災 ・一人1台端末の活用 →formsを用いた振り返り	【知識・技能】 日本の自然環境の特徴と生活文化との関わりを理解できる。 【思考・判断・表現】 日本の自然環境と生活との関わりを主題図や写真から考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境の特徴と自然災害から「問い」を立て、それに対し追求できる。	○	○	○	8
	定期考査		○	○		1	
	生活圏の諸課題 【知識・技能】 災害のしくみや特徴、地域性、防災への取り組み方や課題を理解させる。 【思考・判断・表現】 ハザードマップから地域の危険性を正確に捉えることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の住む地域のハザードマップから課題を捉え適切なマイタイムラインを作成させる。	【生活圏の諸課題】 2 生活圏の課題と地域調査 ・一人1台端末の活用 →formsを用いた振り返り 各自治体HPにおけるハザードマップの活用	【知識・技能】 災害のしくみや特徴、地域性、防災への取り組み方や課題を理解できる。 【思考・判断・表現】 ハザードマップから地域の危険性を正確に捉えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の住む地域のハザードマップから課題を捉え適切なマイタイムラインを作成しようとしている。	○	○	○	5
合計						70	